

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	広島支部	(2)記載者氏名:	佐々木 弘磨	会員番号:	12693	事務局整理記入欄	広島 - 105
分水嶺区分	W534高岳	(3)山行日:	2005年	12月	11日	(4)天候	晴

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

平賀 武雄	14044	栗栖 恒夫	登山愛好者	兼森 美智子	12671		
小林 敏行	13854	三好 勇	12595	池本 喜浩	11953		
岩内 秀昭	11964	佐々木弘磨	12693	本片山数雄	3087		
平田 恒雄	11964	佐久間智子	12879	木村 和子	支部会友		
高田 晃範	12690	兼森 志郎	11958	国枝 忠幹	13570		
				計	15名	計	名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	聖湖周回道 ~ 高岳登山口 ~ 高岳(往復)													
アプローチ:	北広島町齊荘(前泊)組・広島市組 ~ 聖湖周回道 聖湖周回道 ~ 広島市・呉市・福山市													
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係	
			度	分	秒	度	分	秒						
歩行開始点	聖湖周回道	三段峡	132	10	9.43	34	40	12.72	759		10:10		(10)	
	高岳登山口	三段峡	132	9	50.32	34	39	15.51	759	10:45	10:55	A-1	(10)	
分水嶺点 W534	高岳	三段峡	132	9	0.10	34	39	32.64	1,043	12:30	13:00	A-1	(10)	
	高岳登山口	三段峡	132	9	50.32	34	39	15.51	759	13:40	13:50	A-1	(10)	
歩行終了点	聖湖周回道	三段峡	132	10	9.43	34	40	12.72	759	14:30		A-1	(10)	
										総歩行時間(休憩時間を除く):				3時間30分

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コード を記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
W534	高岳	2	真南	良好	「山行報告書 広島 - 104」より転載。当日は積雪が約60cmの為、未確認

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

2005年11月27日の「山行報告書 広島 - 104」と同一内容に付き省略。

(9)水および植生に関連した特記事項

2005年11月27日の「山行報告書 広島 - 104」と同一内容に付き省略。

(10)その他の特記事項

前泊の忘年会組と当日参加組で、分水嶺のW534高岳に忘年登山となる。R191から聖湖周回道に入るも除雪が切れ、途中からワカン歩行を開始する。静かな聖湖湖畔、動物の足跡を見ながら、積雪約50cmの車道を高岳登山口に向かう。いつものように丸木橋を渡り、谷沿いから支尾根に取り付く。この冬一番の寒気が来て雪も充分に有り、時々、薄日が射す込む広葉樹林帯で気持ち良い汗を流す。W534高岳の空は鉛色の雲に覆われていたが、十方山、恐羅漢山、刈尾山、深入山などの雪山が遠望される。又、眼下には黒色の聖湖が周りの白銀の中に浮かぶ景観が素晴らしい。今年も分水嶺踏査登山では数々のドラマがあった。たいした事故もなく安全登山が出来た事に感謝しながら下山する。
--

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: